

劇団マンディリ TEATER MANDIRI

作・演出 = ストゥ・ウィジャヤ PUTU WIJAYA

—インドネシア現代演劇—

トビ"ダ"ス! ニ"バ"ブ"ン カ"バ"エ"シ"ハ"イ

「影」と「人」の、壮絶な対決—

インドネシアのストゥ小父さんが怒りと愛情をこめて繰り広げるラディカルな音と光の「戦争」嘶

会場 — 京都芸術劇場 studio21 (京都造形芸術大学内)

日時 — 2002年 12月13日19:30 / 14日14:00





トビダス! ニガゴノカゴエシイダイ

飛 び 出 す ! 人 間 影 絵 芝 居

劇団マンディリ TEATER MANDIRI
作・演出 = ストゥ・ウィジャヤ PUTU WIJAYA

日 時 — 2002年12月13日(金) 19:30開演 [開場は開演の30分前]
14日(土) 14:00開演
※14日15:30より関連シンポジウムあり (詳細はお問合せください)

会 場 — 京都芸術劇場 studio21 (京都造形芸術大学内)

料 金 — 前売 一般 3,000円 学生 2,000円 [整理番号付き]
当日 一般 3,500円 学生 2,500円 [自由席]

ご予約・お問合せ
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター Kyoto Performing Arts Center
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 TEL: 075-791-9437 FAX: 075-791-9438
E-mail info@k-pac.org URL http://www.k-pac.org/

チケット発売日……2002年10月22日(火)
前 売 取 扱……チケットぴあ 06-6363-9999
06-6363-9966 [Pコード<409-686>]
舞台芸術研究センター 075-791-9437

舞台監督 = 池田ともゆき
照 明 = 岩村原太
音 響 = 加藤陽一郎
宣伝美術 = 清水俊洋
制 作 = 滝村陽子 志賀玲子
協 力 = Asia meets Asia スロトシアター
主 催 = 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター Kyoto Performing Arts Center



光と影、音が繰り広げる「tontonan」とは?
「劇団マンディリ」は自らのパフォーマンスを、「tontonan」(スペクトル、ハスニング)と名づけた。それは、特にバリ島の民族的、伝統的な演劇の技法に由来しており、大きな白い布によって世界、宇宙全体が表現される「影絵」と、伝統音楽をアレンジしつつ、魂の深奥をゆさぶる烈しい楽曲の「リズム」によって構成されている。「tontonan」とは、そうした光と影、音によって表現される終わりのない出来事をつながりであり、役者と観客にスピリチュアルな体験を可能にするものである。その方法が目指しているのは「精神的な恐怖」である。解答を提示するのではなく、観客の精神をダイレクトに揺さぶり、衝撃を与え、あらゆる既存の常識を観客自身が見直すことである。

劇団マンディリ — 日本での上演記録
■2000年 11月3~5日『棺桶が入らない』@新国立劇場 アジア・シアター・フェスティバル
■2001年 11月21日~25日『戦争』@スロトシアター 第3回Asia meets Asia 演劇祭2001

ストゥ・ウィジャヤ PUTU WIJAYA
1944年、バリ島にて生まれる。
現代インドネシアの演劇と文学の世界において、多くの作品を生み出している最も有名な作家・演出家の一人。1968年前後にはじまる革新的な演劇運動の第一世代に属しており、日本の劇団黒テントともすでに長い親交を持っている。米・ニューヨークの「ラ・ママ劇場」や、独・ハンブルクの「カンパナーゲル市立劇場」などでの自作の上演のほか、ウイスコンシン=マディソン大学、コーネル大学、ウェスリアン大学に長期滞在するなど、多彩な国際経験を持つ。[日本には、京都大学・東南アジア研究センター(2000年)での滞在のほか、日本演出者協会主催「東南アジア演劇セミナー」(1997年)でのパネル参加など] 現在までに、40本を超える戯曲をはじめとして、映画、テレビ脚本、小説、評論など、数多くの作品を発表し、日本語・英語・オランダ語・フランス語・ロシア語・タイ語・ドイツ語・アラビア語に翻訳され紹介されているものも多い。

劇団マンディリ TEATER MANDIRI
1971年、首都ジャカルタの週刊誌「TEMPO」のスタッフが中心となって設立された、インドネシアを代表する現代劇団である。「マンディリ」とはジャバ語で「自立した」「自主的である」「自分自身の足で立てる」といった意味であるが、それと同時に、他人には依存しないもののチームとして活動が可能であるという意味も含まれている。劇団マンディリは、「プロの俳優」という枠組にこだわらず、様々な人生を歩んできた多彩なメンバー(出所後の泥棒・労働者・学生・若き会社役員・映画スターなど)によって構成されている。



アクセス
■JR「京都」駅/京阪「三条」駅/阪急「河原町」駅から(京都駅からは約50分)
→京都市バス5番「岩倉」行乗車「上総町・京都造形芸大前」下車
■阪急「河原町」駅/京阪「出町柳」駅から(河原町駅からは約30分、出町柳駅からは約15分)
→京都市バス3番「上総町造形芸大前」行乗車「上総町・京都造形芸大前」下車
■市営地下鉄「丸太町」/「北大路」駅から(約15分)
→京都市バス204循環に乗車「上総町・京都造形芸大前」下車
■叡山電鉄「茶山」駅から徒歩10分
※駐車場はございません。

演出家のことは — ストゥ・ウィジャヤ
「人は戦争が嫌いだという。だが、戦争は現実世界に世界各地でおこなわれている。本当は戦争が好きなのではないか? 戦争とは自由、正義のために行うものであって、平和と表裏一体だ、という人があるが、私はそんな言葉を信じない。戦争は戦争、平和は平和——、両者は決して関係し合っていないのだ。」
Asia meets Asia2001より

